

## もし、検診で虫歯と判定されたら！？

検診で判定される歯の病気は、大きく4つに分類されます。

- ①虫歯 (C)
- ②要観察歯 (CO)
- ③要注意乳歯 (COもしくはC4)
- ④そのほか (くさび状欠損・咬耗など)

治療が必要なのか、あるいは様子見(「経過観察」といいます)になるのかは、かかりつけ歯科医によって判断が異なります。

基本的には、①と③の場合は治療が必要となります。

### 【虫歯治療の種類】

虫歯治療の方法は、以下の2通りあります。

- ①虫歯を削って、お薬を詰める方法 (白の詰め物・銀歯など)
- ②虫歯を削らずに、お薬を塗布する方法 (サホライド塗布)

大人と同じように治療できる子供の場合は、①が第一選択となります。

治療が怖くて①では対応できない子供の場合は、②の選択をします。

②は歯を削らず、歯に薬を塗布するだけのカンタンな治療です。1～3回の塗布で治療は完了します。この薬は虫歯を治すのではなく、虫歯の進行を停止させるような効果があります。歯磨きが不十分の場合、虫歯が悪化する場合もあります。



サホライド塗布前



サホライド塗布後

虫歯の部分が  
黒く変色すると、  
虫歯の悪化が停止します

### 【虫歯を治療せずに、そのまま放置した場合】

乳歯の虫歯の場合、感染が悪化すると、歯茎の中にある永久歯に悪影響が生じます。

虫歯が認められる場合は、必ず治療を受けましょう。